

平成29年度 事業報告

はじめに

当連合会では、行政当局のご指導の下、地区協会、関係機関・団体との連携・協力をより深め、県内の労働者が安心して安全かつ健康に働ける職場環境の実現を目指して、積極的、効果的な事業の運営に努め、また、事業者には「経営における安全衛生の最優先」「現場力の強化」を改めて認識して自主的な労働災害防止活動の充実・強化を図ることを啓発・支援してきました。

このため、各種技能講習、研修等の事業をはじめ、労働問題相談センター事業及び千葉県最低賃金総合相談支援センターの運営や千葉県産業安全衛生会議の運営等を積極的に推進しました。また、第12次労働災害防止計画の5年目に当たり、労働災害による死傷者数を15%以上減少させるという目標達成のために、建設業、製造業、陸上貨物運送業、第3次産業といった重点業種ごとの対策に加え、「STOP！転倒災害プロジェクト」やKYT、化学物質のリスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステムの普及を図りました。さらに、疲労やストレスによる健康障害を防止するため、メンタルヘルス対策や過重労働対策、一般労働条件対策等の取組みを推進してきました。

以上のとおり、当連合会は、千葉県下事業場の労働災害防止をはじめ適正な労働条件の確保・改善、健康の保持増進等勤労者福祉の増進に寄与するための事業をより一層公益的に推進してきました。

I 実施事項

1 安全衛生関係技能講習・研修等の適正な実施

- ① 各種技能講習を適正、円滑な実施に努めた。また、各種安全衛生教育、研修等の内容の充実を図るとともに、計画的な実施に努めた。

本年度の講習等の受講者は、表1「平成29年度・安全衛生関係講習等実施状況」のとおり、対前年比、登録技能講習では若干増加(+26)し、登録養成講習では増加(+99人)し、その他講習でも増加(+100)していることから、全体としては、前年度より大幅な増加(+225人)となった。

- ② 公益社団法人として、コンプライアンスに留意し、適正な技能講習の実施に努めた。
 ③ 技能講習実施管理者や講師の適正配置に努めた。
 ④ 技能講習修了試験問題をテキストの改編等に合わせて適宜見直しした。また、全ての技能講習について、試験問題を1問4択にした。
 ⑤ 受講生の利便性を考慮して全ての講習を年2回以上実施する計画を実行した。
 ⑥ 受講生の集まらない講習・教育についても県内機関で実施がない講習・教育については、少ないニーズに応じて実施した。例えば、安全管理者能力向上教育、第2種衛生管理者受験対策実践講習などを実施した。また、要望があった有機溶剤作業主任者能力向上教育を19年ぶりに再開し実施した。
 ⑦ 第三次産業に係る業種の受講生の増加を図るため、「衛生推進者養成講習」を5回実施したほか、各種講習案内を商業・サービス業・社会福祉施設を中心にDM発送した。その際、労働災害発生状況、転倒災害防止等の周知を図った。
 ⑧ 労働条件に関する啓蒙・周知活動の一環として、高校生・大学生・その保護者を対象に夏期セミナー（労働条件の基本を学ぼう！セミナー）を7月25日に開催した（参加者20名）。

表1 平成29年度・安全衛生関係講習等実施状況

講習名	協会別	平成28年度4月～3月A			平成29年度4月～3月B			前年比(B-A)			
		申込者数	開催回数	回あたり人数	申込者数	開催回数	回あたり人数	申込者数	回数	回あたり人数	
登録技能講習	特定化学物質及び四列鉛等作業主任者	連合会	1,708	19	90	1,906	21	91	198	2	1
	有機溶剤作業主任者	連合会	1,776	20	89	1,904	21	91	128	1	2
		柏	108	3	36	87	2	44	-21	-1	8
		茂原	86	2	43	0	0	0	-86	-2	-43
		成田	294	5	59	250	5	50	-44	0	-9
		東金	28	1	28	18	1	18	-10	0	-10
	有機溶剤作業主任者 小計		2,292	31	74	2,259	29	78	-33	-2	4
講習	石綿作業主任者	連合会	246	4	62	213	4	53	-33	0	-9
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	連合会	1,969	25	79	2,100	21	100	131	-4	21
		柏	67	2	34	80	2	40	13	0	6
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 小計		2,036	27	75	2,180	23	95	144	-4	20

講習名	協会別	平成28年度4月～3月A			平成29年度4月～3月B			前年比 (B-A)		
		申込者数	開催回数	1回あたり人数	申込者数	開催回数	1回あたり人数	申込者数	回数	1回あたり人数
鉛作業主任者	連合会	64	2	32	72	2	36	8	0	4
プラ機械作業主任者	連合会	175	2	88	164	2	82	-11	0	-6
乾燥設備作業主任者	連合会	285	3	95	285	4	71	0	1	-24
フォークリフト運転	銚子	60	1	60	60	1	60	0	0	0
	茂原	69	1	69	0	0	0	-69	-1	-69
フォークリフト運転 小計		129	2	65	60	1	60	-69	-1	-5
ガス溶接	千葉	252	6	42	188	8	24	-64	2	-18
	船橋	138	6	23	103	5	21	-35	-1	-2
	柏	48	2	24	55	2	28	7	0	4
	君津	140	3	47	123	2	62	-17	-1	15
ガス溶接 小計		578	17	34	469	17	28	-109	0	-6
玉掛け	千葉	436	9	48	465	9	52	29	0	4
	船橋	137	4	34	127	4	32	-10	0	-2
	柏	119	3	40	111	3	37	-8	0	-3
	銚子	30	1	30	30	1	30	0	0	0
	君津	164	3	55	151	3	50	-13	0	-5
	茂原	75	1	75	0	0	0	-75	-1	-75
	成田	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東金	36	1	36	40	1	40	4	0	4
玉掛け 小計		997	22	45	924	21	44	-73	-1	-1
床上操作式クレーン運転	船橋	41	3	14	45	3	15	4	0	1
登録技能講習計		8,551	132	65	8,577	127	68	26	-5	3
安全衛生推進者養成講習	千葉	172	3	57	213	4	53	41	1	-4
	船橋	113	4	28	113	4	28	0	0	0
	柏	62	2	31	55	2	28	-7	0	-3
	銚子	17	1	17	10	1	10	-7	0	-7
	君津	43	1	43	26	1	26	-17	0	-17
	成田	47	1	47	64	2	32	17	1	-15
	東金	15	1	15	33	1	33	18	0	18
安全衛生推進者 小計		469	13	36	514	15	34	45	2	-2
衛生推進者養成講習	連合会	248	4	62	302	5	60	54	1	-2
登録養成講習 小計		717	17	42	816	20	41	99	3	-1
有機溶剤作業主任者能力向上教育	連合会	0	0	0	20	1	20	20	1	20
安全管理者能力向上教育	連合会	34	2	17	28	2	14	-6	0	-3
第1種衛生管理者能力向上教育	連合会	43	2	22	63	2	32	20	0	10
局所排気装置等の定期自主検査者講習	連合会	145	3	48	153	4	38	8	1	-10
産業用ロボットの教示、検査等業務の特別教育	連合会	136	2	68	143	3	48	7	1	-20
第1種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	240	5	48	284	5	57	44	0	9
第2種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	65	5	13	66	5	13	1	0	0
人事・労務管理セミナー	連合会	49	2	25	55	2	28	6	0	3
その他講習 小計		712	21	34	812	23	35	100	2	1
総計		9,980	170	59	10,205	171	60	225	1	1

2 技能講習等管理・修了証システムの充実

平成29年4月より受講料の返金及び無料による日程変更を開始した。また、法令改正により本年4月以降の修了証から本籍地の記載を削除した。

3 労働問題相談センターの活動

各地区労働基準協会（以下、「地区協会」という。）の協力の下に、茂原・東金を除く地区協会に労働問題相談センターを開設し、無料相談を実施した。

地域による相談件数の格差もあり、多くの地区協会では未だ利用者数が少ない状況ではあるが、本年度は前年度と比較しやや減少し172件となった。ただ、最賃出張相談所の相談件数と合わせると増加となった。

当連合会としては、本年度は9月にリーフレットを8千枚印刷し、監督署、安定所その他公共機関に配布した。

また、相談センター事業が会員サービスや会員拡大に繋がるような視点から、地区協会と連携を図りながら広報にも配慮が必要だが、連合会のホームページのトップに目立つよう「労働問題相談センター無料相談・助言」の表示を掲載した。

なお、個別相談に当たり、引き続き、迅速、丁寧、適切な回答に努め、利用者第一に考えた対応を心掛けた。

4 千葉県産業安全衛生会議の適正な運営

- ① 平成29年6月7日第1回千葉県産業安全衛生会議を実施した。労働局、県及び関係団体の出席により、前年度の収支決算書・事業報告、今年度の事業実施計画・収支予算書案の承認等を審議した。
- ② 平成29年9月4日第2回千葉県産業安全衛生会議を実施した。労働局、県及び関係団体の出席により、10月2日開催予定の千葉県産業安全衛生大会の運営に関する詳細な打合せを行った。
- ③ 平成29年11月14日第3回千葉県産業安全衛生会議を実施した。労働局、県及び関係団体の出席により、10月2日開催した千葉県産業安全衛生大会の実施結果・収支等の報告のほか、年末年始無災害運動の打合せを行った。
- ④ 平成29年度年末・年始無災害運動における安全パトロールを実施した。12月13日に新日鐵株式会社君津製鐵所と株式会社熊谷組首都圏支店「幕張新都心若葉住宅地区計画B7街区」工事現場の2カ所を千葉労働局長、労働基準部長ほか千葉県産業安全衛生会議構成員のメンバーがパトロールを実施した。
- ⑤ 県内の死亡災害が平成29年1月に8件発生し8名の労働者が亡くなっていることから、千葉労働局は「なくそう死亡災害！運動ちば2017」を3月1日から展開しており、その中心的な主催者団体として4月以降も積極的な広報活動を行った。

5 千葉県産業安全衛生大会の適正な実施

- ① 平成29年10月2日（月）京葉銀行文化プラザにて開催した。
- ② 千葉労働局長表彰、連合会長表彰等各種の表彰及び大会宣言等を例年通り挙行した。
- ③ 事例発表は、
日立化成株式会社松戸事業所(香取)主任技師柴田昌樹氏による「日立化成株式会社松戸事業所(香取)の安全衛生活動」という演題で、当工場での安全衛生活動の事例、フォークリフト・ロボットの安全対策や改善事例、教育活動、安全運動などについてわかり易い説明が行われた。
- ④ 特別講演は、
長岡技術科学大学大学院 技術経営研究科 准教授 芳司 俊郎 氏による
「止める安全 止めない工夫」という演題で、ものづくりの基本である安全対策の考え方を自動車運転教習などの事例を挙げながら説明され、例えば、自動車運転と同じく、自分で止める能力を持つ、ブレーキを踏める人を製造ラインに付けるべきである等、現場に役立つ示唆に富んだ講話が行われた。
- ⑤ 参加者数は585名。

6 千葉県衛生管理者協議会の充実

現在会員数180人余となっており、引き続き、当連合会ホームページによる募集のほか、勧誘チラシを衛生管理者受験講習、衛生管理者能力向上教育等に配布した。

本年度の第1回の例会は、9月12日（火）に、千葉労働局労働基準部健康安全課衛生専門官 内耕一 氏による「最近の労働衛生行政」の説明後、特別講演として、イオン株式会社グループ人事部イオングループ総括産業医 増田 将史 氏による「健康経営時代に必要な健康管理」と題して90分の講演が行われた（参加者47名）。

また、本年度第2回の例会は平成30年2月13日（火）に千葉大学大学院医学研究院環境労働衛生学教授 諏訪園 靖 氏による「作業環境測定について」と労働衛生コンサルタント 飯島 正三 氏による「労基法・安衛法・労災法における視点と相違点～過重労働対策を中心」と題した両名による特別講演が行われた（参加者49名）。

7 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業の適正実施（受託事業）

- ① 新規起業事業場就業環境整備事業の実施
イ 新規起業事業場情報の把握
本年度は、全基連からの労働保険新規成立届出名簿からの選別と社会福祉施設を中心に県の登録事業場等を通じて新規事業場の把握に努めた。

無災害表彰等により、安全衛生活動の底上げにつながるよう制度の周知に努めた。平成29年度実績1件

成田空港給油施設株式会社 千葉事業所 銀賞（第4種）

③ 各種広報啓発事業

全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始無災害運動等、中災防が主体的にかかわる事業に対し、広報啓発等を積極的に推進した。

10 広報の手法、内容の充実

機関紙「千葉労基連」の掲載内容、千葉労基連ホームページ等をより見やすい内容にする等随時リフレッシュを図り広報機能を充実させた。

労働災害件数の全産業に占める割合が年々増加している商業・社会福祉施設等第三次産業の事業者・労働者に対する労働災害防止を喚起するため、DMによる講習案内の送付を活用して災害統計等資料を配布する等啓発に努めた。

千葉県内における労働災害の減少が鈍化していることから、受講者に対して安全衛生意識の高揚を図るための小冊子・リーフレット等を配布した。

11 連合会等組織の基盤強化

① 当連合会の平成29年3月31日現在の賛助会員数は265であったが、平成30年3月31日現在271(+6)と微増した。しかしながら、ほとんどの地区協会で会員が減少し、全体では1.3%の減少となった。

組織の根幹ともいべき会員の長期間にわたる減少に歯止めをかけるべきとの認識に立ち、連合会、地区協会が連携して会員減少対策の取組が進んでいない。

特に、近年、小売業、社会福祉施設、飲食店等の雇用者数の増加に伴い、労働災害も第3次産業で発生する割合が増えていることから、第三次産業への講習受講案内や賛助会員加入を促進しているが、現在のところ大して効果は出ていない。

② 公益社団法人として、安定的に継続的に公益事業をしていく必要から将来的な経費の低減を図るため、事業運営安定化基金取扱規程、講習会館等確保整備基金運用規程、千葉労基連講習会館（仮称）建設計画に基づき、平成28年度決算で生じた剰余金を積立した。

③ 出張講習・安全衛生教育等の要請に応需し、会員サービスや会員拡大につなげていく方針であるが、平成29年度出張講習の実績はなかった。ただ、2、3の要望に応え有機溶剤作業主任者能力向上教育を実施した。

II 会員の異動状況

平成29年度末 賛助会員数	平成29年度中の異動数					平成28年度末 賛助会員数					
	入 会										退 会
271	7					1					265
地区協会名	千葉	船橋	柏	銚子	館山	君津	茂原	成田	東金		
賛助会員数 29年度末	96	36	37	11	8	23	12	19	29		
賛助会員数 28年度末	95	34	36	11	9	21	12	18	29		

III 会議報告

1 定時総会

平成29年5月18日（木）、千葉県経営者会館において定時総会を開催した。議案は全て原案どおり承認された。

2 理事会

- 第1回 平成29年4月20日（木）京葉銀行文化プラザ
- 第2回 平成29年5月18日（木）千葉県経営者会館
- 第3回 平成29年11月22日（水）京葉銀行文化プラザ
- 第4回 平成30年3月22日（木）京葉銀行文化プラザ

3 地区労働基準協会事務局長会議

- 第1回 平成29年8月25日（金）千葉県経営者会館
- 第2回 平成30年1月17日（水）千葉県経営者会館